

つちおと

気仙沼、先月に続き「着工式」を挙行政！

◆7月28日(日)、気仙沼市中みなと町において、鹿折地区ならびに南気仙沼地区の被災市街地復興土地区画整理事業の着工式が挙行政されました。◆先月の住宅の高台移転事業の着工につづき、気仙沼市市街部のまちづくり事業もスタートしました。◆式典では、事業主体である菅原気仙沼市長のご挨拶、小野寺防衛大臣をはじめ来賓からの祝辞、来賓、事業関係者さらに各地区の代表の方を交えて「鍬入れ」を行い着工を祝いました。◆予定どおり順調に工事が進めば、両地区とも平成27年度から順次宅地の供給、災害公営住宅の入居が可能となり、事業の完了は平成29年度を見込んでいます。◆工事の安全と、「復興まちづくり」が滞りなく進むよう、気仙沼市、関係機関と連携を図りながら、支援を継続して参ります。



着工式での「鍬入れ」と「盛り土材搬入」

安倍総理大臣が南三陸町視察！

◆7月29日(月)、安倍総理大臣が南三陸町を視察されました。◆志津川中学校前の高台で佐藤南三陸町長から復興の概要について説明を受けられたほか、さんさん商店街では商店主の方々のお話をうかがうなど、被災地の現状をしっかりと見ていただきました。



高台での視察。仮設商店街では試食も

南三陸町志津川地区復興まちづくり事業着工式挙行政！

◆7月25日(木)、南三陸町志津川沼田において、志津川市街地エリアで予定されている「津波復興拠点整備事業」、「被災市街地復興土地区画整理事業」、市街地では初となる「住宅の高台移転事業」などの着工式が挙行政されました。◆式典では、佐藤南三陸町長の式辞、谷復興副大臣をはじめ来賓からの祝辞につづき、関係者による「鍬入れ」を行い着工を祝った後、佐藤町長の号令により「切土掘削」作業をスタートし、工事の安全と早期の事業完成を祈念しました。◆工事は、ベイサイドアリーナ周辺の「東工区」を先行整備地区と設定、病院・総合ケアセンターの建設、住宅の高台移転事業を実施し、平成27年内の完成を目指しています。



「鍬入れ」の様子と
「切土掘削」作業開始



◆宮城もやっと梅雨が明け、ほっと一安心。というのは、このところよく耳にする「ゲリラ豪雨」、気仙沼市・南三陸町も7月26日夜に激しい雨が降り、浸水被害に遭われた方も。心からお見舞い申し上げます。◆豪雨の後は、8月4日昼の地震。宮城県北部は、震度5弱！揺れに怯えたあと「弱」という言葉に違和感をおぼえた日曜日でした。ご自愛ください。(避難勧告を受けた一人…山)

ここでは、南三陸町の志津川地区並びに気仙沼市の鹿折地区及び南気仙沼地区においてそれぞれ着工式が行われた事業の概要等をお知らせします。

南三陸町 志津川地区復興まちづくり事業（7月25日着工式）

南三陸町では、「なりわいの場所は様々であっても、住まいは高台に」の土地利用の方針の下でまちづくりが進められており、志津川地区に関しては、現在のところ、以下のような計画が進められています。

- ・住宅地は、海拔約19～60m程度の高台に形成することとしています。
- ・低地部は、かさ上げを行い、また、計画的に商業用地や道路等を一体的に整備する土地区画整理事業を行うこととしています。土地区画整理事業においては、早期に造成を終えて志津川の復興を先導するような施設立地を目指す街区（早期まちびらきエリア）を設定し、この「早期まちびらきエリア」では、先行的に盛土工事を進め、平成27年度上半期の宅地の完成と引渡しを目標としています。

*現在の計画は今後変更されることがありますので留意ください。

*図は志津川地区の復興まちづくり事業として今回着手することとなった東地区の東工区の計画図（上）と病院・ケアセンターのイメージ図（下）（着工式の資料から引用。）



気仙沼市 鹿折地区及び南気仙沼地区 土地区画整理事業（7月28日着工式）

気仙沼市の鹿折地区及び南気仙沼地区の土地区画整理事業においては、以下の整備が予定されています。

●盛土かさ上げゾーン

市民の生命及び財産を守ることであり、また、安全で利便性の高い住宅地の再建を図るため、かさ上げ等を行い、住居系市街地を整備するものです。

鹿折地区では現況 T.P. -0.1～+4.2m を T.P. +3.0～+5.5m に、南気仙沼地区では現況 T.P. -0.1～+3.2m を T.P. +3.5～+5.2m にそれぞれかさ上げを行います。

●低地ゾーン

産業の再生を図るため、冠水対策を念頭にかさ上げ等を行い、産業・業務系市街地を整備するものです。

鹿折地区では現況 T.P. -0.4～+1.5m、南気仙沼地区では現況 T.P. -0.2～+1.8m をそれぞれ T.P. +1.8m 以上にかさ上げを行います。



*T.P.とは、東京湾平均海面を指し、海面からの高さを表す場合の基準となる水準面のことで（標高と同じ高さです）。

*図は土地利用計画に基づく南気仙沼地区（左）と鹿折地区（右）の事業完了後の理想の完成予想図完成予想図（今年4月の説明会資料から引用。）

気仙沼支所としても、今後とも引き続き、今回着工された事業を含め、南三陸町と気仙沼市の復旧・復興事業の円滑な実施に関するお手伝いを続けてまいります。

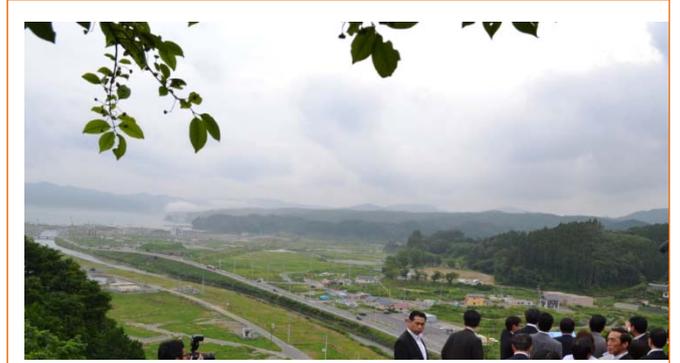
7月29日 安倍総理の宮城県（南三陸町等）訪問

冒頭でお知らせしましたが、7月29日に、安倍総理が東日本大震災による復興状況を把握するために、宮城県（南三陸町と石巻市）を訪問しましたので、南三陸町の訪問の詳細を写真とともにお知らせします。

志津川地区の高台

午前中に石巻市を訪問した安倍総理は、昼食の後、志津川中学校近くの高台に移動し、佐藤町長から震災前の志津川市街地の様子や被災状況の説明を受け、黙礼を行いました。

*写真は、安倍総理が佐藤町長から説明を受けた際の志津川市街地の様子。



南三陸さんさん商店街

その後、安倍総理は、南三陸さんさん商店街を訪れました。

南三陸さんさん商店街においては、及善蒲鉾店においてかまぼこの試食をし、商店街内を歩いて視察した後、(株)ヤマウチにおいて買い物をしました。



*写真は、商店街入口での記念撮影（左）と（株）ヤマウチにおける買い物（右）の様子。

公立南三陸診療所

最後に、安倍総理は、公立南三陸診療所の視察を行いました。

診療所においては、佐藤町長等から説明を受け、診療所内を視察しました。

*写真は、診療所内を視察する安倍総理等。



復興交付金について

復興プランの実現のために
まちづくりの各種事業を支援。。

5月下旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、6月25日に交付可能額の通知が行われました。1道7県に対して交付可能額の通知が行われ、合計の事業費は632億円であり、うち気仙沼市については、防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業、漁業集落防災機能強化事業等に122億円、南三陸町については、農山漁村地域復興基盤総合整備事業と被災地域農業復興総合支援事業に2億円の通知が行われました。

また、これまで、平成23年度から6回にわたって復興交付金の交付可能額の通知が行われているところ、気仙沼市についてはこれまでに合計事業費で約1,634億円、南三陸町についてはこれまでに合計事業費で約894億円が配分されています。

次回（第7回）の事業計画の提出受付時期は、市町村等の作業状況等を踏まえて検討することとしており、引き続き、気仙沼市と南三陸町の事業計画の作成や事業の執行について、気仙沼支所もお手伝いをしてまいります。

ナンプレにチャレンジ！！

		1		7		5		2
				8	5		9	
5			4					8
			7				1	
2								7
	5				4			
8			9		6			4
		9		3	7			
7		6		4		3		

ルール

- ・9マスごとの縦の列と横の列にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。
- ・太枠で囲まれた9マス（縦3マス、横3マス）にそれぞれ1から9の数字が1つずつ入ります。

【編集後記】

◆以前お話をさせていただいた「冬物衣類のクリーニング」については、6月下旬にクリーニング店に衣類を持ち込みました。私と同じようなお客さんが多くいたようで、仕上がりに時間を要するとのことでした。今年は皆さんに遅れることなく出せたと少し安心しました。

(前号のナンプレの回答)

2	8	5	4	7	1	9	6	3
7	9	6	8	3	2	4	1	5
3	4	1	6	9	5	7	2	8
4	5	3	7	2	9	1	8	6
8	6	2	3	1	4	5	9	7
9	1	7	5	6	8	2	3	4
6	2	4	9	5	3	8	7	1
1	3	8	2	4	7	6	5	9
5	7	9	1	8	6	3	4	2

大島亀山山頂から！



7月下旬、大島へ渡り亀山山頂へ。唐桑方面へ目をやると、気仙沼市内の防災集団移転促進事業の第1走者「舞根2」地区で予定地の立木伐採が着々と進んでいる様子が見えました！（矢印の先ですが、分かりづらくてすみません(^_^)



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

①復興庁のホームページ



②宮城復興局



③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所

電話 0226-23-5301

FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>